

令和2年  
全日本大会審判員候補者  
研修会資料



Japan Handball Association / Playing Rules and Referees Commission

2020年度 競技・審判本部方針  
レフェリーに求める基本的事項



Japan Handball Association / Playing Rules and Referees Commission

① 必ずしも、チームに対し3枚のイエローカードを使わなくてよい

◆イエローカードは管理的に使用しない

- IHFレベルでは
- アンダーカテゴリーでは連盟により運用を定める

スピーディーな展開では止めない

◆「即座に2分間退場」にしなければならない場面では、決して使用してはならない

- 全カテゴリーに共通する

Japan Handball Association / Playing Rules and Referees Commission

② 両チームで6枚のイエローカードを必ずしも必要としない(①に関連)

◆6枚まで必要としないゲームが多い

- IHFレベルでは

◆6枚使おうとして、試合の流れを止めてはいけない



そうはいつでも…前半立ち上がりでの基準作りは必要!

Japan Handball Association / Playing Rules and Referees Commission

② 両チームで6枚のイエローカードを必ずしも必要としない(①に関連)

求められる「予防的行動」

重大な違反に発展する可能性を考えて…

- ◆ 口頭での注意
  - 競技規則書に記載されていないが…人間性
- ◆ 明確なボディランゲージ (BL) での注意
- ◆ 笛を使つての注意

Japan Handball Association / Playing Rules and Referees Commission

② 両チームで6枚のイエローカードを必ずしも必要としない(①に関連)

求められる「予防的行動」

- ◆ リーダーシップ
  - レフェリーは「指揮者」
  - 無駄な中断をさせない(モダンハンドボール)
  - 明確に基準等を伝えるためにBLを用いる

レフェリーとしての「ハンドボール感(理念)」を持つ

審判員の心得 10箇条①

Japan Handball Association / Playing Rules and Referees Commission

## 例えば・・・



DFの違反行為は  
プレーの継続に影響していない



一回の攻撃中にVCが2回...  
罰則の基準が示されていない



罰則を判定し基準を伝えるなら  
そのタイミングも大切



レフェリーによる最初の基準があれば  
後の罰則は回避できたはず...



レフェリーが基準を示さないと  
チームをはじめ皆、混乱してしまう



コート上でリーダーシップを取り  
はっきりと基準を示す



Japan Handball Association / Playing Rules and Referees Commission



## ③ イエローカードを示す場合

- ◆カードを示すだけでは不十分  
- 繰り返させるだけとなる

- ◆「これ以上はするな」  
という意味を込めて、  
強い笛と明確なBLで示す



Japan Handball Association / Playing Rules and Referees Commission



## ④ 後半でのイエローカードの使用を避ける(①に関連)

- ◆前半終了間際でも同様に処置する

- IHFレベルでは

- ◆例外の場面もある

- ・ 3mの距離の確保 → 前半で明確な基準を示せばよい
- ・ 抗議 → MO、TDとの連携
- ・ 脚を使ってボールを止める → 「即座に2分間退場」も



Japan Handball Association / Playing Rules and Referees Commission



## 例えば・・・



Japan Handball Association / Playing Rules and Referees Commission



## ⑤ 一連の攻撃の、異なる局面で2名の退場を判定することもできる

- ◆明らかに即座に2分間退場を判定できる場面では可能

速攻開始時の重大な違反 ⇒ アドバンテージ ⇒ 最終局面での重大な違反

ではあるが

一度に2名の退場者⇒**重大な決断**  
**慎重かつ冷静に対処すべきである**



Japan Handball Association / Playing Rules and Referees Commission



## モダンハンドボールの考え方



Japan Handball Association / Playing Rules and Referees Commission



### ① IHFシンポジウム トップコーチを交えて

- ◆得点の後、クイックスローオフを妨害しない
- ◆GKがセーブした後、速攻を妨害しない
  - 軽微な違反を判定しない
  - **退場以上は判定する**

IHFレベルではスピーディーな展開では止めない

10箇条  
①③④⑤

Japan Handball Association / Playing Rules and Referees Commission

### ② 得点の後のイエローカード

審判員の心得  
10箇条①⑤

- ◆チームがクイックスローオフに転じている状況では行わない
  - **IHFレベルでは** **スピーディーな展開では止めない**
  - アンダーカテゴリーでは連盟により運用を定める
- ◆2019年の男子世界選手権（ドイツ・デンマーク）では少なかった → 3.3 YC/試合

Japan Handball Association / Playing Rules and Referees Commission

### ③ GKがセーブし、すぐさま速攻に転じている際のイエローカード

- ◆許されない  
速攻を妨害してはならない
  - **IHFレベルでは**
  - アンダーカテゴリーでは連盟により運用を定める

スピーディーな展開では止めない

審判員の心得  
10箇条①⑤

Japan Handball Association / Playing Rules and Referees Commission

### ④ 1つの攻撃の、異なる局面で2枚のイエローカード

審判員の心得  
10箇条①

- ◆許されない
  - **IHFレベルでは**
  - アンダーカテゴリーでは連盟により運用を定める
- ◆レフェリーは、1回目のイエローカードを示す際、「強いBL」を用いる
  - 基準を伝え繰り返させない

Japan Handball Association / Playing Rules and Referees Commission

### 例えば・・・

シューターはバランスを保ちフリーの状態にもかかわらず...

YCは基準を伝える手段の一つ  
1回の攻撃中に似たような違反にYC...?

ゴールイン後であっても腕に対してのプレー...直接の退場

ゴールイン後であっても空中でのプッシュは...

高速で走っているプレイヤーの腕に対してのプレー...

Japan Handball Association / Playing Rules and Referees Commission

### ⑤ 「3回目の退場によるレッドカード」と「即座にレッドカード」

- ◆プレイヤーの安全を保障する
- ◆明らかな場合は、ためらわずに判定
- ◆両レフェリーが寄り、協議
  - レッドカードを判定するかどうか
  - 通信機器があっても **競技終了30秒間は特に注意**
  - プレーヤー、チームを落ち着かせる意味でも

10箇条  
③④⑤⑥⑧⑨

Japan Handball Association / Playing Rules and Referees Commission

例えば・・・



3回目の退場...



明らかな違反に対して...



Japan Handball Association / Playing Rules and Referees Commission



## ⑥ 新/旧ルール：GK不在（Empty Goal）での攻撃

- ◆試合がよりダイナミックに
- ◆退場がチームに影響しない
- ◆ほとんどのチームが利用
- ◆6対6の新しい戦術
- ◆**注意**：攻防に積極性が増した



Japan Handball Association / Playing Rules and Referees Commission



## 位置取り 領域分担 立ち居振る舞い



Japan Handball Association / Playing Rules and Referees Commission



## ① ピボットゾーン

審判員の心得  
10箇条①⑥⑨

- ◆60分間、一定の基準でコントロールする  
立ち上がりの基準作りは、特に大切
- ◆「観察している」という雰囲気が  
周囲に伝わるように
- ◆コートレフェリーが  
視線やBLで基準を示す



Japan Handball Association / Playing Rules and Referees Commission



## ① ピボットゾーン

- ◆ゴールレフェリーは通信機器で  
コートレフェリーへ情報を伝える  
例)「ポストとDF、お互いに  
ユニフォームをつかんでいるから  
注意を入れて」 等
- ◆できるだけ早く判定を下す



R2 研究課題



Japan Handball Association / Playing Rules and Referees Commission



## ① ピボットゾーン

- ◆攻撃側、防御側の両者が  
違反していることもある  
- この場合、プレーを止めて注意を入れる
- ◆ゴールレフェリーとコートレフェリーが  
**連携し、二人で攻防を管理する**



予防的行動により  
これ以上の違反を  
“させない”



Japan Handball Association / Playing Rules and Referees Commission



## 例えば・・・



レフェリーによる基準(BL、ゼスチャー等)が示されないなら、DFはユニフォームを揃め続ける



ゴールレフェリーが観察していればこのような行為も見送ったりはしない

## ② ウィングシュートの際



- ◆最終局面を的確に観察する
- ◆1st: 防御側の位置はどこであったか (ゴールエリアの内 vs 外)
- ◆long step と、それが原因で起こる Foot on Foot (防御側の足の動きは)
- ◆防御側が攻撃側に向かって接触する

審判員の心得  
10箇条④⑤



## 例えば・・・



DFは大きく足を踏み出しているレフェリーは、直接の2分間を判定する前に、まずはペアで審判を確認する必要がある



DFが大きく足を踏み出した足がシューターの踏み切った足の下に入り込んでしまっているどちらも直接の退場(2つ目は7mT)



DFが大きく足を踏み出した足がシューターの踏み切った足の下に入り込んでしまっている7mT + 直接の退場

## ③ 「違反を誘発させる行為」と「オーバーリアクション」

審判員の心得  
10箇条①④⑦

- ◆増加の傾向にある
- ◆常に「起こること」を念頭に
  - ・自分からぶつかって「オフェンスファール」と見せかける
  - ・ホールディングされた攻撃側がその場に倒れ込む 等



## ③ 「違反を誘発させる行為」と「オーバーリアクション」



- ◆決めつけてはならない伝え方に「人間性」を
- ◆位置取りや観察の視点を誤ると正しく判定できない
- ◆すぐにやめさせる放置するとハンドボールの悪いイメージを与える
- ◆罰則を与えることも可能(ただし、明らかな場面で)

大きさに倒れているように見えているんだけど...

## 例えば・・・



基準の示し方の参考として...ただし、その基準は一定に!

#### ④ コート上での位置取り

- ◆常にボールを巡る攻防の「間」を  
観察できる位置を求める
- ◆両者の「間」は狭いか、広いか  
広いスペースに走り込んだのは  
どちらか

審判員の心得  
10箇条①⑤⑥



Japan Handball Association / Playing Rules and Referees Commission



#### ④ コート上での位置取り

- ◆まずは防御側プレーヤーの位置、それから接触を観察
- ◆決して固定した位置にとどまらない



Japan Handball Association / Playing Rules and Referees Commission



#### ④ コート上での位置取り

- ◆プレーヤーはその都度（臨機応変に）  
ポジションを変える  
だからレフェリーも…
- ◆常に正しく  
観察できる位置を探す
- ◆誤った位置取りは、多くのミスジャッジを生む



Japan Handball Association / Playing Rules and Referees Commission



#### ④ コート上での位置取り

- コートレフェリーだけでなく  
ゴールレフェリーも  
同じ位置に立ち続け  
ない（固定位置にとどまらない）  
常に見える位置取りを！



Japan Handball Association / Playing Rules and Referees Commission



#### 例えば・・・



頭部への接触は、どのような状況でも  
直接の退場となる



ボールを持つ手と逆の手を使い  
優位な状況を作ろうとしている



時にはこのような行為も…  
レフェリーは、常に接触が見える  
位置取りを探さなければならない



Japan Handball Association / Playing Rules and Referees Commission



#### ⑤ コート上での立ち居振る舞い

- ◆「リーダーシップ」「人間性」を発揮
- 「私（僕）に任せて」の姿勢  
「誠実さ」
- プレーヤーへの言葉遣い  
決して高圧的にならない

審判員の心得  
10箇条①②⑦

穏やかに



Japan Handball Association / Playing Rules and Referees Commission



## ⑤ コート上での立ち居振る舞い

### ◆常に「冷静さ」「穏やかさ」を示す

- 「7mT+退場」の判定で、ダッシュでプレーヤーやポイントへ駆け寄らない
- FTのポイント移動も、「穏やかに」移動し示す  
※ それまでの位置取りが遠くならないように
- レフェリーはポリスマンではない（誇張してはならない）

審判員の心得  
10箇条④



Japan Handball Association / Playing Rules and Referees Commission



## ⑤ コート上での立ち居振る舞い

- ◆罰則の後、両レフェリーの位置を交代することよりも、**BLを用いて明確に示す**ことを優先する
- ◆チーム役員へ罰則を適用した際は、両レフェリーの位置を交代する等、**適当な距離を置く**



Japan Handball Association / Playing Rules and Referees Commission



## 例えば・・・



プレーヤーを飛び越える方が  
様々なリスクを伴う  
レフェリーはあらゆる場面で  
冷静に対応すべきである

判定は間違っていないが  
BLが「シャイ」  
レフェリーはもっとはっきりと  
伝えるべきである

レフェリーは穏やかに、かつはっきりと  
BLを伴う罰則の判定を行っている  
が...7mTの判定を忘れていた！



Japan Handball Association / Playing Rules and Referees Commission



## ⑤ コート上での立ち居振る舞い

### ◆判定の理由を聞かれたら…

「リーダーシップ」「人間性」を発揮し  
**競技規則の根拠（判断基準）を基に説明**

身体接触	エリア際	アドバンテージ	パッシブプレー
攻防の切り替わり	違反の誘発	オーバーリアクション	・・・

審判員の心得  
10箇条①②③



Japan Handball Association / Playing Rules and Referees Commission



## ⑤ コート上での立ち居振る舞い

### ◆判定の理由を聞かれたら…

「リーダーシップ」「人間性」を発揮し  
**競技規則の根拠（判断基準）を基に説明**

- ・影響の有無
- ・ボールに対してかそうでないか
- ・スペースはあった（明らかなシュートチャンス）かどうか
- ・ボールのない所で、何を判定したのか など



Japan Handball Association / Playing Rules and Referees Commission



## ⑤ コート上での立ち居振る舞い

### ◆判定の理由を聞かれたら…

「リーダーシップ」「人間性」を発揮し  
**競技規則の根拠（判断基準）を基に説明**

- ・軽微な違反ではあるが、シュートチャンスを阻止した
- ・シューターは十分にボディコントロールが取れている
- ・DFが先に、正しく位置を取っている
- ・DFは前へと動き、かつ大きな動作で違反を誘発した



Japan Handball Association / Playing Rules and Referees Commission



## ⑤ コート上での立ち居振る舞い

- ◆「リーダーシップ」「人間性」を発揮し、説明 …  
次の違反をさせないための「予防的行動」にも繋がる  
- 口頭で、ボディランゲージで、笛で

ピボット  
ゾーン

ウィング  
ポジション

接触  
(DF vs OF)

競技終了後の  
フリースロー



Japan Handball Association / Playing Rules and Referees Commission

## ⑤ コート上での立ち居振る舞い

### 例) 競技終了後のフリースローでの「予防的行動」

- ➔ “相手をケガさせないように気を付けてね” (OFに)
- ➔ “ポイント、ここ！ 3mしっかり離れてね” (DFに)



Japan Handball Association / Playing Rules and Referees Commission

## ⑥ 【重要】チームのキープレイヤーをコントロール下に置く

- ◆攻撃や防衛の中心的（リーダー）となる存在
- ◆厳しいマークを受けることもある  
- ここぞという所では重要な役割を果たす存在
- ◆そのプレイヤーを甘やかすという意味ではない



Japan Handball Association / Playing Rules and Referees Commission

## ⑦ すべてのレフェリー（ペアではない）が、同じ判断基準で

- ◆60分間、大会期間中、すべての大会において
- ◆事前資料、映像資料から「判断基準」を的確に押さえる
- ◆「自分たちのペアだけ」の特別なものはいらない
- ◆例えば・・・「誰と組んでも」同じ判断基準で

Japan Handball Association / Playing Rules and Referees Commission

## 全日本大会ノミネートレフェリーとして



ハンドボールを創造する陰の演出者として  
チーム・プレイヤーに、トレーニングの成果を  
存分に発揮させるための準備を！

Japan Handball Association / Playing Rules and Referees Commission

## 全日本大会ノミネートレフェリーに対し

### 求めるもの

- ◆競技規則の理解と正しい運用
- ◆ラフプレーとスポーツマンシップに反するプレーの排除
- ◆妥当性と信頼性のある判定
- ◆アスリートとして必要な心技体

Japan Handball Association / Playing Rules and Referees Commission

我々は**1つのチーム**!!!



ここにいる一人ひとりが  
地元を持ち帰って、見本となってほしい  
後輩の良き見本となってほしい



Japan Handball Association / Playing Rules and Referees Commission



最後に



“人間力なくして競技力向上なし”

～JOC選手強化本部スローガン～

人間力も含めて、アスリートの価値  
ダブルゴールを目指して



Japan Handball Association / Playing Rules and Referees Commission

